



サイエンス  
カフェ  
広島大学理学部

コーヒーや紅茶を飲みながら、アットホームな雰囲気の中で楽しく「科学」について語り合いませんか？

授業や講演会などとは違う「科学を題材にコミュニケーションする空間」を演出したいと、広島大学理学研究科の有志が集まり、「サイエンスカフェ」活動を始めました。参加資格はたった一つ。

**“身近な科学に触れてみたい方！”**

これだけです。好奇心旺盛な皆様のご参加をお待ちしています。

## どんな感じのイベントなの・・・？

話し手の先生も聴衆の皆さんも、お互いにコーヒーを飲んだりお菓子をつまんだりしながら、くつろいだ雰囲気でお話を進めていきます。

進行役の“ファシリテーター”(聞き手)がときには小道具などを使って、話の内容をより分かりやすく皆さんに伝える手助けをしてくれます。



## 「理が苦」から「理楽」へ

科学はとってもドキドキ・ワクワクするもの。だから、話の途中で質問するのも大歓迎。でも、質問をしたくても手が挙げづらいこともありますよね？ そんな心配は、サイエンスカフェならば無用です！ 質問カードに聞きたいことを書き込めば、聞き手の方が皆さんの代わりに話し手に質問してくれます。

これまで理科や科学が苦手だった人も、一緒に楽しみませんか？



## さて、今回のサイエンスカフェは・・・

季節は秋。秋といえばいろいろな果物が美味しい季節。今回のサイエンスカフェは果物にまつわる科学についての話題です。

例えば、秋の果物の代表の柿。柿は食べて美味しいだけでなく、昔から防水効果や蜂の毒消しなどに利用されてきました。経験的に知られていることですが、そこにはどんな「科学」が働いているのでしょうか。

「あたりまえ」にひそむ知識の盲点に迫ります。